

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

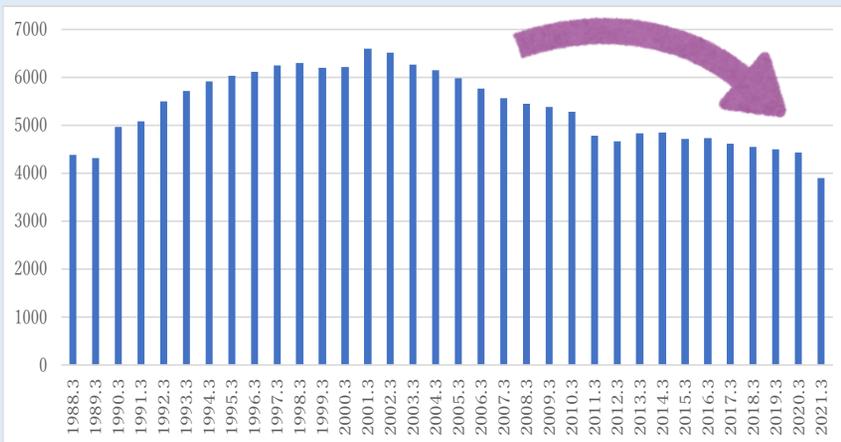
NO. 79 2021年4月23日 JR東労組

夏季手当へ向けたたたかいを職場からつくり出そう！No.3

「赤字なのに夏季手当要求が出来るのか」という声も中央本部に寄せられていますが、「変革2027」に基づく2025年の数値目標では、**JR東日本グループで3兆円を超える収益を上げる企業になることが目標**とされています。**3兆円企業になるという「見通し」**であれば、組合員の生活保障をはじめ、「変革2027」の実現のための期待、コロナ禍での努力、施策への協力等を考慮し、**3兆円を売り上げる企業にふさわしい賃金を求めるのは当然**です。

□ JR東日本の人件費の推移

人件費は、JR発足当時の4382億円（1988.3）から徐々に上昇していき、6610億円（2001.3）をピークとして下がり続け、**2021年度にはJR発足以来最低となる3900億円**になる見通しです。



□ JR東日本の純資産の推移

純資産（会社の純粋な資産）は、**JR発足当時の3240億円から上昇を続け、2020年度には、2兆5513億円**となりました。

この純資産は社員が働き、つくり出した利益を内部留保として社内に蓄えたものです。



「抑え続けられた人件費」と「上昇し続ける純資産」を見れば、赤字コロナ禍でも堂々と夏季手当を要求するのは当然です！

□ 去年に比べて**544億円**も下がった人件費



2021年度の人件費は3900億円と予測されています。

前年度の人件費は4444億円なので**1年で544億円減**ということになります。

JR東日本はその544億円の内訳を、**賞与（夏季・年末手当）315億円**、**社員減51億円**と発表しています。その一方、**株主配当金は377億円**を支出しています。**中央本部は「人への投資」を交渉で主張していきます！**

夏季手当の議論を通じ JR 東労組の組織強化を勝ち取ろう